産業実務演習Ⅰ

科目ナンバリング　MAN-215
選択必修　　2単位

山中　左衛子

1. 授業の概要（ねらい）

この演習では、ホスピタリティ産業に興味のある皆さんが、それぞれの興味に合わせてテーマを選び、グループに分かれて自主研究を行い、パワーポイントで発表し、個別にレポートを作成します。テーマの対象は宿泊業、飲食業、旅客業、エンターテインメント業など、ホスピタリティ産業のビジネスに、大学という私たちにとっての「現場」を加えます。またテーマとして、コロナ禍による人々の行動様式の変化、対面接客の常識を変えたAIの導入加速など、非接触化と省力化の関係、さらに産業全体のSDGsに対する取り組みなども歓迎します。

サブテーマとして、皆さんが、企業人になったときに必須の「考えて伝える力」を磨きます。企業では業種にかかわらず、上司への報告・相談、説明、職種によって顧客応対、商談、マスコミ対応、その他あらゆる場面で、口頭あるいは文書やメモ、メールで伝えることが求められます。伝える力は基本を知り、繰り返し実践し、フィードバックを受けることで必ず向上します。

皆さんは、さまざまな話題で「発言する」ことからはじめ、主にホテルビジネスでの社内外の場面を想定したケーススタディやホスピタリティ産業に題材を取った新聞・雑誌等の記事をもとに意見を出し合い、前期は主に「話す力」を、後期は主に「書く力」を養います。また発表に関する連絡・報告書の作成も、企業の書類作成の様式で行います。

なお産業界からゲストスピーカーを招くことがあります。

この演習では、ホテル企業での教員自身の実務経験を活かした授業を行います。現場、マーケティングセクションの管理職、人材育成、リスク管理部門の責任者、さらには業界団体である一般社団法人日本ホテル協会の研修委員を務めた経験から得た知識と経験を、指導やケーススタディに取り入れて、皆さんとシェアします。

2. 授業の到達目標

（1）修得した知識等を活用し、主として観光、ホスピタリティ産業のなかから自らの興味に応じて研究テーマを設定、研究計画を立てられるようになります。
（2）問題を発見、情報を収集して原因を探り、問題の改善への一歩を考えるようになります。
（3）企業人として必須の前に踏み出す力、チーム力、プレゼンテーション力、メール・文書作成力等を修得します。
（4）自分の考えを短い時間でまとめて話す「考えて伝える力」が向上します。

3. 成績評価の方法および基準

出席は必須です。やむを得ない理由以外の発表準備・発表当日の欠席は、減点します。グループ発表（評価割合40%）、中間個別レポート（評価割合20%）、リアクションペーパー、課題（評価割合20%）、アイデア提供や積極的な発言など授業への協力（評価割合20%）により評価されます。リーダーには、グループ提出物の責任者として加点します。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜資料を配付します。

5. 準備学修の内容

必要に応じて各回の終わりに、テーマに関連する課題を出しますので、準備して授業に参加しましょう。

6. その他履修上の注意事項

グループワークが中心になるため、出席は必須です。やむを得ない理由以外の発表準備・当日の欠席は減点します。
受講者の上限は、演習の性格上25名を目途とし、希望が多い場合は抽選としますが、当演習に自分が向いているかどうかよく考えて、抽選に受かっても一度も出席せず、受講したい他の学生の機会を奪うような残念な人にはならないでください。
第4回「伝える力（1）①PREP法で報告 講義編 / テーマを考える」は、LMSによるオンデマンド授業とする予定です。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
【第2回】　自己紹介、フレームワークとは何か
　　テーマを考える①
【第3回】　テーマを持ち寄る・グループ決め①
【第4回】　LMS:伝える力(1)①PREP法で報告 講義編／テーマを考える②
【第5回】　伝える力(1)②PREP法で報告 実践編
　　テーマ・グループ決定② テーマを絞る①
【第6回】　テーマを絞る②グループごとの調査・討議①
【第7回】　グループごとの調査・討議②
【第8回】　伝える力(2)プレゼンテーションのヒントⅠ
　　グループごとの中間発表準備
【第9回】　グループごとの中間発表
【第10回】　中間発表のフィードバック
　　伝える力（3）プレゼンテーションのヒントⅡ
【第11回】　グループごとの調査・研究・討議②
【第12回】　グループごとの調査・研究・討議②
【第13回】　グループごとの最終発表準備
【第14回】　グループごとの最終発表
【第15回】　全体総括